安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-2222-0	**版**	3.00
発行日	2024/12/16	**前発行日**	2021/09/07

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型アクリル接着剤 DP8625NS ブラック

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

42-2216-2, 42-2212-1

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-2212-1	**版**	2.00
発行日	2024/12/16	**前発行日**	2021/02/01

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型アクリル接着剤 DP8625NS ブラック Part A

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム

危険有害性情報

H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	45 - 65
アクリルポリマー	営業秘密	10 - 30
触媒	営業秘密	1 - 20
安息香酸エステル	営業秘密	<= 15
有機過酸化物	13122-18-4	0.1 - 10

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を

受診する。

眼に入った場合
ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器

に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
熱から離して保管する。　酸から離して保管する。　強塩基から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。　アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具
特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具
特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	白色
臭い	油臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=65.6 °C
引火点	> 93.3 °C ［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.08 g/ml
比重	1.08 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	18,519 mm2/sec
揮発性有機化合物	60.5 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*EU VOC含有量。］
揮発分	< 6 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	2.8 g/l［*詳細：*パートBと一緒に使用した際］
モル重量	*適用しない*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
アミン類
強酸
強塩基
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
本品は特異臭を持つが、健康への影響は予想されない。

皮膚に付着した場合
製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
飲み込むと、健康障害を起こすことがある。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
プロパノールジベンゾエート	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
プロパノールジベンゾエート	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 200 mg/l
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	ラット	LD50 3,295 mg/kg
アクリルポリマー	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
アクリルポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
触媒	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
触媒	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
有機過酸化物	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
有機過酸化物	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.8 mg/l
有機過酸化物	経口摂取	ラット	LD50 12,905 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	ウサギ	刺激性なし
有機過酸化物	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	ウサギ	刺激性なし
有機過酸化物	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	モルモット	区分に該当しない。
触媒	マウス	区分に該当しない。
有機過酸化物	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	In vitro	変異原性なし

触媒	In vitro	変異原性なし

発がん性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2 世代
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2 世代
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
触媒	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	造血器系 ｜ 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	90 日

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	3.7 mg/l
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	緑藻類	実験	72 時間	EL50	4.9 mg/l
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	19.31 mg/l
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.89 mg/l
アクリルポリマー	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
触媒	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
有機過酸化物	13122-18-4	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.51 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	7.03 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.125 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.22 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	液状化	実験	3 時間	EC50	327.02 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	85 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
アクリルポリマー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
触媒	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	29.1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
触媒	営業秘密	推定値 光分解		光分解半減期（空気中）	1.48 日（t 1/2）	
有機過酸化物	13122-18-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	72 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法

有機過酸化物	13122-18-4	実験 水生固有生分解性	56 日	生物学的酸素要求量	58 %BOD/ThOD	OECD 302A 修正 SCAS 試験
有機過酸化物	13122-18-4	実験 加水分解		加水分解性半減期（pH7）	51 時間（t 1/2）	OECD 111 pHに応じた加水分解

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	8	Catalogic™
アクリルポリマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
触媒	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.57	
有機過酸化物	13122-18-4	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	380	Catalogic™
有機過酸化物	13122-18-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	5.16	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；本SDSのGHS分類により適用
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
消防法：第四類第三石油類

主な法規制物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１：製品用途 情報の追加.
セクション２：環境影響ステートメント 情報修正.
セクション２：GHS分類 情報修正.
セクション２：健康有害性 情報修正.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
セクション４：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.
セクション５：火災時情報（消火剤） 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション８：眼の保護具 情報の追加.
セクション８：眼および顔面保護 情報の削除.
セクション８：保護具 - 眼 情報の削除.
セクション８：保護具 - 吸入 情報の削除.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸用保護具のガイド 情報の削除.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報の削除.
セクション８： 呼吸保護情報 情報の追加.
セクション９：融点/凝固点 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：揮発分 情報修正.
セクション９：pH情報 情報修正.
セクション９：追加性状に関する記載 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション９：揮発性有機化合物 情報修正.
セクション１０：避けるべき条件 情報修正.
セクション１０：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：水生生物への慢性毒性情報 情報修正.

セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション１５：法規名 - 表 情報の削除.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-2216-2	**版**	3.00
発行日	2024/12/16	**前発行日**	2024/01/11

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型アクリル接着剤 DP8625NS ブラック Part B

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
皮膚腐食性/刺激性： 区分２
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
腐食性　感嘆符

ピクトグラム

危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H402	水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
2-(2-ブトキシエトキシ)エチルメタクリレート	7328-22-5	10 - 30
カオリン	1332-58-7	9 - 30
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3	1 - 15
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	15
アクリルコポリマー	営業秘密	< 11
メタクリル酸重合体	営業秘密	< 11
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	< 10
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	10
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアン	23616-79-7	< 5

モニウムクロライド		
PPGメタクリレートのリン酸エステル	95175-93-2	< 3
カーボンブラック	1333-86-4	0.46
ナフテン酸銅	1338-02-9	0.10
４－メトキシフェノール	150-76-5	0.10
メタクリル酸メチル	80-62-6	0.10
結晶性シリカ	14808-60-7	0.10

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
過酷な熱にばく露されると熱分解が起こりやすい。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
塩化水素	燃焼中

フッ化水素	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
熱分解物を吸入しない。　工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
熱から離して保管する。　酸から離して保管する。　強塩基から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。　アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
クラス１及び２以外の有機及	1332-58-7	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)　（８	

び無機粉塵、総粉塵			時間）:8 mg/m3 ; TWA（吸入性粉じんとして）（８時間）:2 mg/m3	
不活性あるいは有害なダスト	1332-58-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
カオリン	1332-58-7	ACGIH	TWA（吸入性分画）：2 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	1332-58-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
カーボンブラック	1333-86-4	ACGIH	TWA（吸入性分画）：3mg/m3	A3: 動物発がん性物質
カーボンブラック	1333-86-4	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):0.3 mg/m3	25℃1気圧空気中
カーボンブラック	1333-86-4	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
煤	1333-86-4	JSOH OELs	限界値は未設定	1：ヒトに対して発がん性がある。
銅化合物	1338-02-9	ACGIH	TWA(Cuヒュームとして):0.2 mg/m3;TWA(Cuダストないしミストとして):1 mg/m3	
結晶性シリカ	14808-60-7	ACGIH	TWA（吸入性分画）： 0.025 mg/m3	A2:ヒトに対して発がん性が疑われる物質
結晶性シリカ（吸入性粉塵）	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m3;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m3	1：ヒトに対して発がん性がある。
４－メトキシフェノール	150-76-5	ACGIH	TWA：5mg/m3	
メタクリル酸メチル	80-62-6	ACGIH	TWA：50ppm、STEL：100ppm	A4： ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚感作性物質
メタクリル酸メチル	80-62-6	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):20 ppm	25℃1気圧空気中
メタクリル酸メチル	80-62-6	JSOH OELs	TWA(8時間):8.3 mg/m3	呼吸器感作性のおそれ。皮膚感作性のおそれ。
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	JSOH OELs	限界値は未設定	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
誤使用又は装置の故障により、本品が非常に高い温度に加熱された場合は、分解物の濃度を許容限度以下に維持するために十分な局所排気装置を使用する。　空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
装置の誤用や故障による極端な過熱に晒された場合のために陽圧式送気マスクを使用する。
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク
半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	黒色
臭い	マイルドなアクリル酸臭。
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=37.8 ºC

引火点	> 93.3 °C ［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.11 g/ml
比重	1.11 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	54,054 mm2/sec
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	<=10 g/l ［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*パートAと一緒に使用する際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	<=36 % ［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*支給されたままの状態］
モル重量	*適用しない*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
アミン類
強酸
強塩基

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

誤使用や機器故障などによる過加熱により分解物としてフッ化水素が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激：　発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ヒドロキシエチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50　5,564 mg/kg
カオリン	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

カオリン	経口摂取	ヒト	LD50 > 15,000 mg/kg
シクロヘキシルメタクリレート	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シクロヘキシルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 12,900 mg/kg
シクロヘキシルメタクリレート	吸入－蒸気	類似化合物	LC50 推定値 20 - 50 mg/l
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,000 mg/kg
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
疎水性二酸化ケイ素	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
疎水性二酸化ケイ素	吸入－粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
PPGメタクリレートのリン酸エステル	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
PPGメタクリレートのリン酸エステル	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値> 5,000 mg/kg
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	経口摂取	入手できない	LD50 500 mg/kg
カーボンブラック	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
カーボンブラック	経口摂取	ラット	LD50 > 8,000 mg/kg
ナフテン酸銅	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
ナフテン酸銅	経口摂取	類似化合物	LD50 >300, < 2,000 mg/kg
メタクリル酸メチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
メタクリル酸メチル	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29.8 mg/l
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	LD50 7,900 mg/kg
４－メトキシフェノール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
４－メトキシフェノール	経口摂取	ラット	LD50 1,630 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値> 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
カオリン	専門家による判断	刺激性なし
シクロヘキシルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	専門家による判断	刺激性なし
疎水性二酸化ケイ素	ウサギ	刺激性なし
PPGメタクリレートのリン酸エステル	入手できない	刺激物
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	モルモット	腐食性
カーボンブラック	ウサギ	刺激性なし
ナフテン酸銅	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸メチル	ウサギ	刺激物
４－メトキシフェノール	ウサギ	軽度の刺激
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果

ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
カオリン	専門家による判断	刺激性なし
シクロヘキシルメタクリレート	In vitro data	激しい刺激
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	専門家による判断	刺激性なし
疎水性二酸化ケイ素	ウサギ	刺激性なし
PPGメタクリレートのリン酸エステル	入手できない	腐食性
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	類似健康有害性	腐食性
カーボンブラック	ウサギ	刺激性なし
ナフテン酸銅	In vitro data	刺激性なし
メタクリル酸メチル	ウサギ	軽度の刺激
４－メトキシフェノール	ウサギ	激しい刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ヒドロキシエチルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
シクロヘキシルメタクリレート	マウス	感作性あり
疎水性二酸化ケイ素	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ナフテン酸銅	モルモット	区分に該当しない。
メタクリル酸メチル	ヒト及び動物	感作性あり
４－メトキシフェノール	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ヒドロキシエチルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
ヒドロキシエチルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
シクロヘキシルメタクリレート	In vitro	変異原性なし
疎水性二酸化ケイ素	In vitro	変異原性なし
カーボンブラック	In vitro	変異原性なし
カーボンブラック	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸メチル	In vivo	変異原性なし
メタクリル酸メチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
４－メトキシフェノール	In vivo	変異原性なし
４－メトキシフェノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
カオリン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
疎水性二酸化ケイ素	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
カーボンブラック	皮膚	マウス	発がん性なし
カーボンブラック	経口摂取	マウス	発がん性なし
カーボンブラック	吸入した場合	ラット	発がん性
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	発がん性なし
メタクリル酸メチル	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性なし
４－メトキシフェノール	皮膚	多種類の動物種	発がん性なし
４－メトキシフェノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	49 日
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
シクロヘキシルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
シクロヘキシルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	15 週
シクロヘキシルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 500 mg/kg/日	妊娠期間中
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
メタクリル酸メチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2 世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2 世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 450 mg/kg/日	妊娠期間中
メタクリル酸メチル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.3 mg/l	器官発生期
４－メトキシフェノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	授乳期早期交配
４－メトキシフェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当し	ラット	NOAEL 300	28 日

		ない。		mg/kg/日	
４－メトキシフェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シクロヘキシルメタクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
PPGメタクリレートのリン酸エステル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
４－メトキシフェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
カオリン	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL データなし	職業性被ばく
カオリン	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	
シクロヘキシルメタクリレート	経口摂取	内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 腎臓および膀胱 ｜ 神経系 ｜ 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	15 週
疎水性二酸化ケイ素	吸入した場合	呼吸器系 ｜ 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
カーボンブラック	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	皮膚	末梢神経系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	経口摂取	腎臓および膀胱 ｜ 心臓 ｜ 皮膚 ｜ 内分泌系 ｜ 消化管 ｜ 造血器系 ｜ 肝臓 ｜ 筋肉 ｜ 神経系 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/day	2 年
４－メトキシフェノール	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 300 mg/kg/day	28 日
４－メトキシフェノール	経口摂取	肝臓 ｜ 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
４－メトキシフェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 300 mg/kg/day	28 日

４－メトキシフェノール	経口摂取	心臓 ｜ 内分泌系 ｜ 造血器系 ｜ 神経系 ｜ 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
2-(2-ブトキシエトキシ)エチルメタクリレート	7328-22-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	95 mg/l
2-(2-ブトキシエトキシ)エチルメタクリレート	7328-22-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	22.36 mg/l
2-(2-ブトキシエトキシ)エチルメタクリレート	7328-22-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	94.7 mg/l
2-(2-ブトキシエトキシ)エチルメタクリレート	7328-22-5	ミジンコ	推定値	21 日	EC10	7.51 mg/l
2-(2-ブトキシエトキシ)	7328-22-5	緑藻類	実験	72 時間	EC10	34 mg/l

エチルメタクリレート						
カオリン	1332-58-7	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>1,100 mg/l
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	23616-79-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
PPGメタクリレートのリン酸エステル	95175-93-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
４－メトキシフェノール	150-76-5	繊毛原生動物	実験	40 時間	IC50	171.4 mg/l
４－メトキシフェノール	150-76-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	54.7 mg/l
４－メトキシフェノール	150-76-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	28.5 mg/l
４－メトキシフェノール	150-76-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.2 mg/l
４－メトキシフェノール	150-76-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	2.96 mg/l
４－メトキシフェノール	150-76-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.68 mg/l
カーボンブラック	1333-86-4	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
カーボンブラック	1333-86-4	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
カーボンブラック	1333-86-4	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	100 mg/l
カーボンブラ	1333-86-4	液状化	実験	3 時間	NOEC	>800 mg/l

ック						
ナフテン酸銅	1338-02-9	緑藻類	推定値	72 時間	ErC50	0.629 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.0756 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	0.07 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ファットヘッドミノウ（魚）	推定値	32 日	EC10	0.0354 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	緑藻類	推定値	該当なし	NOEC	0.132 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	底生蠕虫	推定値	28 日	NOEC	110 mg/kg（乾燥重量）
ナフテン酸銅	1338-02-9	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.02 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	液状化	推定値	該当なし	EC50	42 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	大麦	推定値	4 日	NOEC	96 mg/kg（乾燥重量）
ナフテン酸銅	1338-02-9	シマミミズ	推定値	56 日	NOEC	60 mg/kg（乾燥重量）
ナフテン酸銅	1338-02-9	土壌微生物	推定値	4 日	NOEC	72 mg/kg（乾燥重量）
ナフテン酸銅	1338-02-9	トビムシ	推定値	28 日	NOEC	167 mg/kg（乾燥重量）
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	液状化	実験	30 分	EC50	900 mg/l
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	12.5 mg/l
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	33.9 mg/l
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	590 mg/l
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	ゼブラフィッシュ	推定値	35 日	NOEC	9.4 mg/l
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	緑藻類	実験	72 時間	EC10	5.49 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	イシビラメ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	833 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l

ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	16 時間	EC0	>3,000 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	18 時間	LD50	<98 mg/kg(体重)
メタクリル酸メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>110 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>79 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	69 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	110 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	37 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	液状化	実験	30 分	EC20	150 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	>1,000 mg/kg (乾燥重量)
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-(2-ブトキシエトキシ)エチルメタクリレート	7328-22-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	91 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
カオリン	1332-58-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メタクリル酸重合体	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	23616-79-7	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	3.9 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
PPGメタクリレートのリン酸エステル	95175-93-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
４－メトキシフェノール	150-76-5	実験 生分解性 - 嫌気性	28 日	%	>90 %	
４－メトキシフェノール	150-76-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	86 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
カーボンブラック	1333-86-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ナフテン酸銅	1338-02-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	70-80 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 310 CO2 Headspace
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	84 %BOD/COD	OECD 301D - クローズドボトル法
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 加水分解		加水分解性半減期　塩基性pH	10.9 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
メタクリル酸メチル	80-62-6	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	94 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-(2-ブトキシエトキシ)エチルメタクリレート	7328-22-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	3.1	
カオリン	1332-58-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ブタジエンアクリロニトリルポリマー	9003-18-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メタクリル酸	営業秘密	分類にデー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

重合体		タが利用できない、あるいは不足している。				
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	23616-79-7	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	31.7	
PPGメタクリレートのリン酸エステル	95175-93-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
４－メトキシフェノール	150-76-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.58	
カーボンブラック	1333-86-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ナフテン酸銅	1338-02-9	類似コンパウンド BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	≤27	OECD305-生体濃縮度試験
シクロヘキシルメタクリレート	101-43-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.9	
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.42	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
メタクリル酸メチル	80-62-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.38	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
消防法：第四類第三石油類
労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号　がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
４－メトキシフェノール	パラ-メトキシフェノール	適用しない	該当	該当
カーボンブラック	カーボンブラック	該当	該当	該当
ナフテン酸銅	銅及びその化合物	該当	該当	該当
シクロヘキシルメタクリレート	シクロヘキシルメタクリレート	適用しない	該当	該当
ヒドロキシエチルメタクリレート	2-ヒドロキシエチルメタクリレート	適用しない	該当	該当
メタクリル酸メチル	メタクリル酸メチル	該当	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション５：火災時情報（特殊有害性） 情報修正.
セクション５：燃焼時有害性の表 情報修正.
セクション７：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション８：職業暴露情報 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：保護具 - 吸入 情報修正.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１０：有害な分解物の情報 情報の追加.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。